



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2060 URL <https://www.feed-one.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 英洋  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 望月 弘次 (TEL) 045-311-2300  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	79,782	18.8	1,186	-	1,456	-	921	-
2023年3月期第1四半期	67,131	18.2	△1,700	-	△1,474	-	△984	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,895百万円 (-%) 2023年3月期第1四半期 △453百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	24.12	-
2023年3月期第1四半期	△25.80	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	128,309	46,736	36.0
2023年3月期	127,913	45,314	35.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 46,181百万円 2023年3月期 44,768百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	12.50	-	12.50	25.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	12.50	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	323,000	4.9	3,500	146.0	3,500	104.5	2,300	123.1	60.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	38,477,128株	2023年3月期	38,477,128株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	289,402株	2023年3月期	297,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	38,184,438株	2023年3月期1Q	38,148,704株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2023年3月期253,960株、2024年3月期1Q244,460株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年6月30日まで)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束傾向にあり、5月には感染症法上の位置づけが5類感染症に変更される等、社会経済活動の正常化に向けた動きが進展しました。しかしながら、緊迫した世界情勢に起因するエネルギー・原材料価格の上昇や各国の金融政策の転換による金融資本市場の変動、海外経済の減速等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこし価格は主産地である米国の作付面積の増加見通しから一時的に値を下げましたが、投機筋の買戻しや南米産地での豊作予想、米国での乾燥懸念等から乱高下して推移しております。

畜産物につきましては、豚肉相場は、消費者の生活防衛意識が依然高く、牛肉から豚肉へ需要がシフトしたこと等から前年同期を上回って推移しております。鶏卵相場は、鳥インフルエンザによる供給不足の状況が継続しており、前年同期を上回って推移しております。牛肉相場は、一部で需要の回復が見られるものの、前年同期を下回って推移しております。

こうした環境にあって、当社グループは原料調達が多様化・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質向上及び生産成績改善につながるサービス提供等の取り組みを進めてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は797億8千2百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は11億8千6百万円(前年同期は17億円の営業損失)、経常利益は14億5千6百万円(前年同期は14億7千4百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億2千1百万円(前年同期は9億8千4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### ① 飼料事業

飼料事業では、主原料を始めとする原材料価格の上昇、燃料費・物流費等の高騰、飼料価格安定基金負担金の増額等の影響でコストは増加しているものの、畜産・水産飼料ともに販売数量及び平均販売価格が前年同期を上回ったこと等から、当第1四半期連結累計期間の売上高は675億8千8百万円(前年同期比18.6%増)、営業利益は16億9千1百万円(前年同期は10億2千1百万円の営業損失)となりました。

#### ② 食品事業

食品事業では、豚肉相場・鶏卵相場ともに前年同期を上回る高値で推移していること等から、当第1四半期連結累計期間の売上高は115億8百万円(前年同期比20.8%増)となりました。営業利益は相場上昇分の販売価格条件見直しの実施等により、6千4百万円(前年同期は1億3千4百万円の営業損失)となりました。

#### ③ その他

特約店、畜産・水産生産者への畜水産機材の販売等の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6億8千4百万円(前年同期比12.7%増)となり、営業利益は6千6百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加等により1,283億9百万円(前期末比0.3%増)となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金の返済等により815億7千2百万円(前期末比1.2%減)となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により467億3千6百万円(前期末比3.1%増)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,379	8,616
受取手形及び売掛金	51,375	50,538
電子記録債権	3,885	3,896
商品及び製品	3,070	2,993
原材料及び貯蔵品	17,156	15,731
動物	357	383
その他	2,791	3,718
貸倒引当金	△180	△148
流動資産合計	85,836	85,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,002	12,856
機械装置及び運搬具（純額）	11,217	10,990
土地	6,114	6,114
リース資産（純額）	727	699
建設仮勘定	68	47
その他（純額）	538	528
有形固定資産合計	31,668	31,237
無形固定資産		
その他	916	957
無形固定資産合計	916	957
投資その他の資産		
投資有価証券	8,531	9,451
長期貸付金	12	11
破産更生債権等	327	325
繰延税金資産	274	262
その他	702	692
貸倒引当金	△356	△359
投資その他の資産合計	9,491	10,384
固定資産合計	42,076	42,580
資産合計	127,913	128,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,482	35,883
短期借入金	16,803	12,661
リース債務	126	124
未払法人税等	467	448
賞与引当金	558	839
その他	5,636	6,160
流動負債合計	60,074	56,117
固定負債		
長期借入金	19,208	21,866
リース債務	658	627
繰延税金負債	203	531
役員株式給付引当金	173	176
退職給付に係る負債	2,234	2,209
資産除去債務	3	3
その他	42	41
固定負債合計	22,523	25,455
負債合計	82,598	81,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	9,737	9,737
利益剰余金	23,952	24,392
自己株式	△244	△237
株主資本合計	43,445	43,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229	1,709
繰延ヘッジ損益	32	413
為替換算調整勘定	61	165
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	1,323	2,289
非支配株主持分	546	555
純資産合計	45,314	46,736
負債純資産合計	127,913	128,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	67,131	79,782
売上原価	63,589	73,102
売上総利益	3,542	6,679
販売費及び一般管理費	5,243	5,493
営業利益又は営業損失(△)	△1,700	1,186
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	102	111
持分法による投資利益	63	118
その他	110	97
営業外収益合計	280	328
営業外費用		
支払利息	26	48
その他	27	10
営業外費用合計	54	58
経常利益又は経常損失(△)	△1,474	1,456
特別利益		
固定資産売却益	29	3
特別利益合計	29	3
特別損失		
固定資産売却損	2	3
固定資産除却損	4	5
減損損失	22	—
子会社整理損	0	—
投資有価証券評価損	—	2
工場閉鎖損失	—	143
特別損失合計	29	155
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,474	1,304
法人税、住民税及び事業税	60	414
法人税等調整額	△556	△39
法人税等合計	△495	374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△978	929
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△984	921

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△978	929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	480
繰延ヘッジ損益	385	380
退職給付に係る調整額	2	0
持分法適用会社に対する持分相当額	123	103
その他の包括利益合計	524	966
四半期包括利益	△453	1,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△459	1,887
非支配株主に係る四半期包括利益	6	8



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、当社取締役（社外取締役を除く。以下について同じ。）及び当社と委任契約を締結している執行役員（以下総称して「取締役等」という。）を対象とする株式報酬制度「役員向け株式交付信託」（以下「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、取締役等の報酬として、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が定める「株式交付規程」に基づいて、各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式等が本信託を通じて交付されます。

また、本制度は、2021年5月19日の取締役会において延長されることが決議されました。延長後の本制度においては、2022年3月末日で終了する事業年度から2025年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度の間在任する取締役等に対して当社株式等が交付されます。なお、当社取締役等が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じて、総額法を適用しております。なお、「株式交付規程」に基づく当社取締役等への当社株式の交付に備えるため、当第1四半期連結会計期間における株式給付債務の見込額に基づき役員株式給付引当金を計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末の当該株式の帳簿価額は214百万円、株式数は253,960株であり、当第1四半期連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は206百万円、株式数は244,460株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	56,998	9,525	66,524	607	67,131	—	67,131
外部顧客に対する売上高	56,998	9,525	66,524	607	67,131	—	67,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	351	0	351	84	436	△436	—
計	57,349	9,525	66,875	692	67,567	△436	67,131
セグメント利益又は損失(△)	△1,021	△134	△1,155	58	△1,097	△603	△1,700

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材の販売及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△603百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△605百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない減損損失は、22百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	67,588	11,508	79,097	684	79,782	—	79,782
外部顧客に対する売上高	67,588	11,508	79,097	684	79,782	—	79,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	408	0	408	84	492	△492	—
計	67,996	11,509	79,506	768	80,275	△492	79,782
セグメント利益	1,691	64	1,756	66	1,823	△636	1,186

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材の販売及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△636百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△638百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。